

平成 19 年 1 月 10 日

(財)新エネルギー財団「太陽光発電フィールド研究事業」として トヨタカローラ山形、本社・南一番町店に「太陽光発電システム」導入

トヨタカローラ山形株式会社(山形市南一番町 1-15 代表取締役社長 鈴木重行)では、昨年全国初の全店、国土交通省東北運輸局「環境に優しい整備事業場」認定を受けるなど、環境問題に関し、積極的に取り組んできました。

今般、更に、一步先んじた地球環境にやさしい共存エネルギーの採用と導入を社会的責任として考慮していく必然性から、二酸化炭素削減に有効な新エネルギー導入等をはじめ、従前より取り組み可能な事項について、原油高騰もあり種々、社内にて検討してきました。

昨年 10 月、当社創立 45 周年を迎えるに当たり、「創立 45 周年記念事業」として太陽光発電を計画、経済産業省外郭団体である「財団法人新エネルギー財団」(東京都千代田区紀尾井町 3-6 会長 山本幸助殿)が主催する「平成 18 年度太陽光発電フィールド研究事業」(別紙「資料①」参照)に応募、審査を受けておりましたが、昨年 6 月に採択を得ましたので、同 9 月より本社ビル屋上に「太陽光発電所」設備工事に着手、施工しておりました。

同 12 月中旬完工、同 25 日、東北電力株式会社殿へ余剰電力売電のため、「系統連系検査」を受け、同日から太陽光発電を開始、当社本社・南一番町店一般電源、テクノショップ(サービス工場)動力源として電力供給を開始しました。

当社としても、社員の省エへの取り組み啓蒙と実行にあわせ、さらなる省資源化を含めた環境問題に引き続き取り組む考えであります。

当事業概要は以下のとおりです。

記

「平成 18 年度太陽光発電フィールド研究事業」目的と概要他

地球温暖化対策が求められている現状において、社内省エネルギー対策と並行、太陽光発電設備設置、運転、データ収集を行い、データ分析、評価の取りまとめ(担当:新エネルギー財団殿側)を行い、今後の導入促進普及に有用な資料取りまとめを行います。

当社における具体的内容は、当年 3 月迄試験運用、4 月以降、「太陽光発電新技術等フィールドテスト事業(共同研究事業、期間 5 年間)」に入ります。

設備投資額他

1. 発電容量 40kw。